

発行人→医療法人社団
すんとおる

沼津市高沢町6-1
TEL→055-922-8855
URL→http://www.sunto-seikei.jp

年男大いに語る

こんにちは。デイケアで介護士をしております。勝又です。
今回は大いに語るということで、私が住んでいる「清水町」について語りたと思います。

清水町は、沼津市と三島市、長泉町に囲まれている小さな町です。
柿田川やサントムンなどが有名ですが、実は源義経の縁の地なのです。

まずは八幡神社にある対面石です。ここでその昔、源義経と頼朝が再会を果たし共に平氏を倒しに行くことになった歴史的にも貴重な場所なのです。
(周りにはおいしいお店がたくさんあります。)

そして次に紹介をするのは本城山です。標高は76mという小さな山で、なんと片道10分で登山が楽しめる場所でもあります。その中には意外に本格的なアスレチックもありますので、お子様連れでも十分に楽しむことができます。最大の見所はなんといっても富士山と柿田川が見渡せる景色です。とても素晴らしい眺めになっております。

他にも丸池や千貫樋などきれいな場所がたくさんあるので、皆様是非!!一度足を運んでみてください。



皆さんこんにちは。デイケアの山下です。
タイトルは「年男大いに語る」とありますが、少し囁かせて頂きます。少々お付き合い頂ければ幸いです。

皆さんが、この駿東新聞をご覧になられている今現在は、もうすでに平昌オリンピックは閉幕しているかもしれませんが、今回オリンピックについてお話させて頂きます。

オリンピックが開催されるのは4年に1度。その理由にはいくつかの説があります。最も有力なのは、古代ギリシア人が太陰暦を使っていたからという説です。現代一般的に使われている太陽暦の8年が、太陰暦の8年3ヶ月にほぼ等しいことから、8年という周期は古代ギリシア人にとって重要な意味をもっていたのです。暦を司るのは神官であり、8年ごとに祭典が開催されるようになり後に半分の4年周期となりました。太陰暦では49ヶ月と50ヶ月間隔を交互にして開催されていたようです。

皆さんの記憶にも残っていることと思いますが、1984年のロサンゼルス大会は画期的な大会で、オリンピックをショービジネス化した結果として黒字を計上しました。スポンサーを「一業種一社」に絞ることに伴い黒字化を達成したのです。その後、立候補都市が激増し各国のオリンピック委員会とスポーツ業界の競技レベル、政治力、経済力などが問われる総力戦の様相を呈するようになりました。また、1994年のリレハンメル冬季オリンピックよりオリンピックは、夏の大会の2年後の冬開催となるよう、開催サイクルが改められました。これにより、注目度の低かった冬季オリンピックにも関心が高まるようになりました。

最後に、日本選手団のメダル数がどのくらいかは、これを書いている時点ではわかりませんが、冬季競技の活躍が2020年の東京オリンピックでの飛躍につながるよう、切に願う次第です。

